

天竜精機株式会社

2019年度 環境経営レポート

(対象期間:2019年4月1日～2020年3月31日)



作成日：2020年8月20日

□ ごあいさつ

当社は ふたつのアルプスに育まれた風光明媚な場所に立地し、太陽と月と大地の自然環境豊かな当地で、豊かな緑の大地の恵みを受けた環境にやさしい物作りを目指して、経済発展と環境保全活動に貢献します。

2019年 環境経営方針

<環境理念>

天竜精機株式会社は、効率的な生産活動が地球環境の保全に繋がっていると認識し、全員参加で、環境に配慮した事業活動に努めます。

<環境方針>

お客様への先進的省力化自動機の供給と、装置の効率的な設計・生産を追求し資源及びエネルギーの削減に努めます。

- (1) 省力化自動機の開発、性能向上の取り組みを進め、お客様の省力化に努めます。
- (2) 装置設計・生産の効率化、標準化を推し進め、省資源・納期短縮を目指します。また、業務品質の向上を行い、設計・工程不良等の後戻り作業を排除します。
- (3) 環境法規、協定を遵守する事はもちろん、周辺環境整備への取り組みを全員参加で行い、環境活動レポートとして情報開示し、地域・社会に受け入れられる企業であり続けます。
- (4) 環境経営の継続的改善を誓約する。

<環境目標>

効率化、標準化の推進と業務品質向上を行い、二酸化炭素排出量(注)を3%削減する

(注)売上げ百万円当たりの二酸化炭素排出量

制 定： 2015年9月30日
最終改訂： 2019年9月30日
天竜精機株式会社
代表取締役
小野 賢一

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
天竜精機株式会社
代表取締役 小野 賢一
- (2) 所在地
本 社 長野県駒ヶ根市東伊那5650番地
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 品質保証部 小原 秀彦 TEL:0265-82-5111
担当者 品質保証部 久保田 博昭 TEL:0265-82-5111
- (4) 事業内容
省電力専用機の設計、製作、販売
コネクタ関連自動機、電池関連自動機、実装関連設備の設計、製造、販売
- (5) 事業の規模
製品出荷額 18.3億円 (2019年度 2019年4月～2020年3月)
主要製品生産量 183t (2019年度 2019年4月～2020年3月)
- | | |
|-------|--------|
| | 本社 |
| 従業員 | 112名 |
| 延べ床面積 | 5,885㎡ |
- (6) 事業年度 2019年4月～2020年3月

□認証・登録の対象組織・活動

- 登録組織名： 天竜精機株式会社
関連事業所： なし
- 対象外： なし
活動： なし

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2015年	2016年	2017年	2018年①	2019年
二酸化炭素総排出量 二酸化炭素排出係数 *0.516	kg-CO ₂	310,401	328,568	322,460	365,237	311,792
売上100万円当りの 二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /100万円			145②	159②	179②
売上	100万円	2,091	2,375	2,700	2,300	1,830
廃棄物排出量	トン	4.53	15.00	20.00	11.00	16.00
一般廃棄物排出量	トン	1.12	1.00	7.00	5.30	4.34
産業廃棄物排出量	トン	4.00	9.00	13.00	5.83	12.53
総排水量	m ³	1,229	1,285	1,588	1,625	1,681
化学物質使用量	kg	0	0	0	0	0

①:2018年より、決算期の変更(1月～12月⇒4月～3月)があった為、
2018年数値は、2018年4月～2019年3月で記録

②:2017年より、二酸化炭素排出量を絶対値より売上100万円当たりの排出量へ
変更の為、2017年より記載。

2019年7月まで→(株)USEN NETWORKS排出係数(2018年) (0.653kg-CO2/kwh)、
2019年8月より→中部電力実排出係数(2019年) (0.496kg-CO2/kwh) を使用

□環境目標及びその実績		実績				中長期計画		
		2018年 (基準年度)	2019年		評価	2020年 (目標)	2021年 (目標)	2022年 (目標)
電力の二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	300,736	263,258	259,754 86.4%	○	260,373	308,686	353,867
化石燃料の二酸化 炭素排出量削減	kg-CO ₂	64,501	49,082	52,038 80.7%	×	52,161	61,840	70,891
軽油の二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	0	0	0		0	0	0
上記二酸化炭素排 出量合計	kg-CO ₂	365,237	312,340	311,792 85.4%	×	312,534	370,526	424,758
一般廃棄物の削減	t	5.3	7.0	4.3 80.7%	○	4 100.0%	4 100.0%	4 100.0%
産業廃棄物の削減	t	16.9	13.0	12.5 74.0%	○	12.5 100.0%	12.5 100.0%	12.5 100.0%
節水	m ³	1,625	1,588	1,681 103.4%	×	1,681 100.0%	1,681 100.0%	1,681 100.0%
化学物質使用量	kg	0.00	0.00	0.00	-	0 0.0%	0.00 0.0%	0.00 0.0%

※目標値は各年度売上予算より算出

○ 達成 × 未達成

□環境活動の取り組み計画と評価

◎よくできた ○できた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
電力による二酸化炭素排出量の削減		
・装置の設計・生産の効率化	○	・CO2の排出量は削減されたが、売上が約20%減の為、売上費目標に対して14%増となり、目標未達成となった。
・業務品質の向上を行い、設計・工程不良の後戻り 作業削減	△	
・エアコンの定期点検	×	
化石燃料による二酸化炭素排出量の削減		
・公共交通機関の利用	○	・不具合での出張の減少、省エネ運転の呼び掛け、公共交通機関の利用により、ガソリン消費量削減。 ・灯油の使用量も減少傾向であり、引き続き取り組みを継続する。
・省エネ運転の推奨	○	
・業務品質の向上による不具合での出張削減	○	
一般廃棄物の削減		
・分別し廃棄業者への売上	◎	・月2回の社内見回りを実施し、分別の徹底を継続していく。
産業廃棄物の削減		
・分別化によるリサイクルの拡大	○	・分別化によるリサイクルの拡大と廃棄量の削減を進める。 ・月2回の社内見回りを実施し、分別の徹底を継続していく。
・廃棄物分別パトロール	○	
社会貢献		
・外部とのコミュニケーション	○	・草刈の要望への対応

●2020年度 環境経営目標、及び目標達成手段

方針	目標		目標達成手段
二酸化炭素排出量削減	電力の削減	前年度比 97% 削減率 -3% 目標数値 25,1961kg-CO ₂	<ul style="list-style-type: none"> 装置の設計、生産の効率化 業務品質の向上を行い、設計・工程不良の後戻り作業削減 エアコンの定期点検
	自動車・暖房燃料の削減	前年度比 97% 削減率 -3% 目標数値 50,476kg-CO ₂	<ul style="list-style-type: none"> 業務品質の向上を行い、設計・工程不良の後戻り作業削減 暖房機器の定期点検 公共交通機関の利用 運転時の省エネ運転 業務品質の向上による不具合での出張削減 WEB会議を行う
廃棄物削減排出	産業廃棄物の維持	前年度比 100% 削減率 0% 目標数値 9.67t	<ul style="list-style-type: none"> 定期巡視による分別の徹底
排水量削減	水道水の維持	前年度比 100% 削減率 0% 目標数値 1,681m ³	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い時の節水呼びかけ
化学物質使用	化学物質使用量の適正管理	前年度比 100% 削減率 0% 目標数値 0kg	<ul style="list-style-type: none"> PRTR法の指定物質を使用しない

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄	一般廃棄物、産業廃棄物(金属クズ、廃プラ、廃ガラス、廃油等)
フロン	業務用空調機
水質	BOD、ノルマルヘキサン抽出物質含有量
工場	指定工場の新設時の届出、記載内容の変更時の届出、緑地面積率の遵守
労働	有害物質に関する規制、名称等を表示すべき有害物、安全衛生管理体制
消防	防火管理者、危険物貯蔵所、取扱所設置の届出

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

- ・CO2排出量(全体)は前年度比約15%減。
 (電力会社の変更によるCO2換算係数良化、灯油使用量削減)
 売上当たりのCO2排出量は13%増。
 目標 売上当たりのCO2排出量3%減は未達成であった。

次年度に向けて、下記項目を重点的に取り組み、社会、環境負荷削減へ貢献する。

- ・コネクタ生産機のユニット開発、IOT機能等の開発を行いお客様の生産性向上等をアピールし受注につなげる。
- ・原価低減・納期短縮の活動を継続推進し、業務効率を向上していく。
- ・クレーム、工程不良等を仕組みから改善し、やり直し業務、誤手配、ムダな損失を失くす。

□環境活動の紹介

天竜精機は、中央アルプスと南アルプスに挟まれた、伊那谷の豊かな自然の中で、事業を推進する企業です。
 太陽光発電フィールドテスト事業の助成を受け、太陽光発電システムを導入し運用しています。
 この自然の恵みを活用して、太陽光発電システムは年間使用電力量の約15%を補っています。



また、環境活動を生産効率改善に向けた施策として位置づけ、日常的な業務活動にリンクさせて全社で取り組んでいます。
 具体的には、後戻り作業の削除、作業時間の短縮、納期の短縮を行っています。
 当社はミッションとして「私たち天竜精機は生産準備の右腕企業です。共に課題に挑戦し、世界中の人々の快適なデジタルライフの発展に貢献します。」を掲げており、環境活動面と技術面の両面で「お客様に選ばれる会社」を目指し取り組んでまいります。

